

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	伝統工芸産業の振興					所管	文化産業観光部 産業振興課	
	行政計画	事業NO.	27	計画事業名	江戸下町伝統工芸の振興	事業の開始・終了年度		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] I-1. 産業の活性化					[事業開始] 平成 9 年度	
		[小 柱] (2)地域経済の活性化					[終了予定] - 年度	
		[施 策] ②伝統産業の振興						
根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区立江戸下町伝統工芸館条例、施行規則					
事業対象	一般区民、観光客、修学旅行者等							
事業目的	江戸下町伝統工芸館の運営を通じ、伝統工芸の保存・普及・販路拡大・後継者育成を図り、伝統工芸産業の振興と育成に寄与する。							
事業内容	①江戸下町伝統工芸館の運営 ②江戸下町伝統工芸館での常設展示 ③江戸下町伝統工芸館での催し開催(毎週土、日曜日の実演、特別展(年2回)、伝統工芸品集合展(年2回)、手づくり教室(年3業種、延6回)) ④台東区の伝統工芸職人展(東京国立博物館)(年1回) ⑤区外での実演・販売(都庁・年1回) ⑥区外での手づくり教室(年1回) ⑦国立科学博物館でのものづくり教室(対象:小中高生・年1回、一般・年1回) ⑧伝統工芸教室(区内小中学校対象) ⑨伝統工芸のビデオ視聴及び貸出し ⑩江戸下町伝統工芸館のリニューアル推進							
委託の有無	一部委託	委託内容	運営業務等委託(受付業務・清掃業務)(民間業者) 事業運営委託(職人団体)					
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	伝統工芸教室	回	3	4	2	3	
		伝統工芸職人展	回	1	1	1	1	
	成果指標	江戸下町伝統工芸館入館者数	人	-	117,887	114,997	103,781	
		外国人入館者数	人	-	7,129	7,729	8,264	
	決算額 (単位:千円)				14,241	14,708	17,526	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			12,327	7,218	14,267	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			14,191	14,635	17,400	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			50	73	127	
		総経費			26,568	21,926	31,794	
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
	一般財源(区負担額)			26,568	21,926	31,794		
前回評価から改善した事項	伝統工芸館のリニューアルに向けて、管理運営体制や展示方法の見直しを含めたリニューアルの方向性を定めた。また、伝統工芸館のビデオコーナーの設備更新等、着手できる改善については、順次行っている。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	2020年東京大会へ向けて東京の魅力をPRする重要なコンテンツの一つとして伝統工芸が注目される中、これを好機ととらえ、伝統工芸館内外での実演・ワークショップ等を通じて台東区の伝統工芸をPRすることは、伝統工芸産業の振興につながるため、必要な事業である。					
	効率性	3	伝統工芸館リニューアルの方向性を定める検討委員会を設置したため、コスト増があったが、イベント開催時において過去に作成したパネルを再利用するなど、その他のところでコストの削減に努めている。					
	手段の適切性	2	職人団体と連携し実施する実演や手づくり教室において、来場者と職人のコミュニケーションの場となり、伝統工芸への興味が深まるようPRする現状の手段が適切と考える。					
目的達成度	2	年間を通して様々なイベントを行い、本区の伝統工芸の魅力を伝えているものの、江戸下町伝統工芸館の入館者数は、平成25年度の126,391人から減少傾向にある。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	
伝統工芸館内外における様々なイベントで、本区の伝統工芸の魅力を伝えているものの、江戸下町伝統工芸館の入館者数は減少傾向にあるため、伝統工芸産業振興の中心施設としてさらに発展させるため、改善が必要である。平成30年度に閉館期間を設け、リニューアルの工事を実施する。							改善	
							拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	